

特集1

新たな「思い出の場」の活用

# その空き家、 活かしませんか？

あ

あなたにとっての「思い出の場所」はどこですか？

旅行先など、日々の生活から離れた場所でしょうか。

一方で、家族と過ごした普段の生活も、時を経て思い出深いものになるはず。そんな何気ない毎日を過ごすのは「自宅」です。

しかし、家族それぞれが人生の転機を迎えることで、自宅から話し声が消えるケース、すなわち空き家になる場合があるのも事実です。仮に、空き家になっても、思い出と共にそのまま残すことができるのが理想ではないでしょうか。

残念ながら、住宅は年を経るごとに劣化してしまいます。

しかし、さまざまな手法を用いることで、思い出の詰まった自宅に、もう一度、新たな息吹をもたらすことができます。

その空き家、活かしませんか？